

# 【国際戦略総合特区】京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 アミノインデックス技術を用いた新たな事業開発〔税制の特例活用（平成24～29年度実施）〕

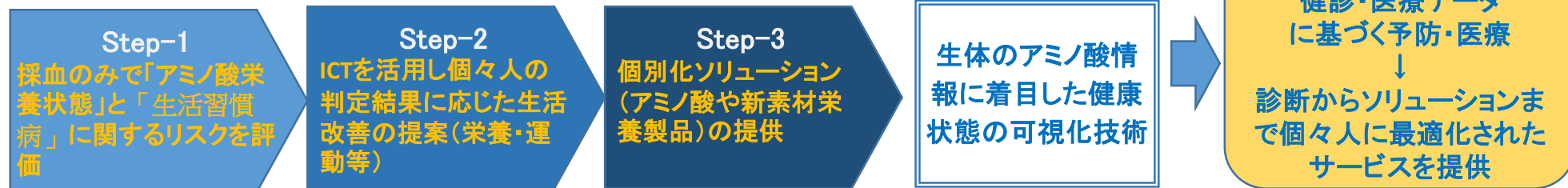
## 特区の目的・事業概要

- 本特区は、京浜臨海部における個別化・予防医療時代に対応した、グローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出を目標としている。
- 課題解決策として、京浜臨海部の17拠点において、グローバル企業が先導して医薬品・医療機器産業を活性化させ、国際競争力の向上、関連産業や中小企業等への波及効果を引き出し、経済成長とライフイノベーションの実現に向け取り組む。

## 事業イメージ

- 具体的な取組として、設備等投資促進税制の特例を活用して構築された検体情報データベースをもとに、アミノインデックス技術を用いた新たな事業開発を実施している。本事業は、健康状態の可視化により、がんや生活習慣病、将来的には働く世代から高齢者までの様々な疾患予防に資する診断サービスや栄養ソリューションの開発を目標としている。平成29年度はアミノインデックス®生活習慣病リスクスクリーニング(AILS®)の新製品開発を達成した。

### 例) AILS®のコンセプト



## 特区における効果

- 殿町国際戦略拠点を中心として、設備等投資促進税制の特例を活用し、研究プロジェクトや新商品・サービスの創出に向けた特区関連事業の投資が順調に進んでいる。また、アミノインデックス技術を用いた新たな事業開発以外にも、PET検査用医薬品やiPS細胞の凍結保存液の製品化等など医薬品・医療機器・再生医療等製品等の新規開発も順調に進展している。
- これらの事業の進展は、グローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出という目標に大きく寄与している。